

令和3年中の特殊詐欺発生傾向

集計期間R3.1.1～R3.12.31

◆令和3年中 特殊詐欺被害認知件数・被害額 前年比（暫定値）

区 分	令和元年中		令和2年中		令和3年中		前年比				
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率	
特殊詐欺 合計	125	237,870,776	125	296,781,464	155	268,941,618	30	24.0%	-27,839,846	-9.4%	
	(62,939,000)	(103,438,000)	(58,413,000)	(-45,025,000)	(-43.5%)	
内 訳	オレオレ詐欺	22	59,860,000 (4,000,000)	11	45,415,000 (14,715,000)	40	93,217,000 (8,267,000)	29	263.6%	47,802,000 (-6,448,000)	105.3% (-43.8%)
	預貯金詐欺	40	45,087,000 (45,087,000)	45	52,581,000 (52,581,000)	26	20,959,000 (20,959,000)	-19	-42.2%	-31,622,000 (-31,622,000)	-60.1% (-60.1%)
	架空料金請求詐欺	38	82,163,400 (2,431,000)	41	139,232,352 (0)	33	98,039,220 (0)	-8	-19.5%	-41,193,132 (0)	-29.6% (0.0%)
	還付金詐欺	3	3,542,777 (0)	2	1,630,323 (0)	20	16,925,040 (0)	18	900.0%	15,294,717 (0)	938.1% (0.0%)
	融資保証金詐欺	6	6,996,599 (0)	5	8,780,789 (0)	1	1,977,908 (0)	-4	-80.0%	-6,802,881 (0)	-77.5% (0.0%)
	金融商品詐欺		()		()	1	52,000 (0)	1		52,000 (0)	()
	ギャンブル詐欺		()	1	13,000,000 (0)	1	4,479,000 (0)	±0	0.0%	-8,521,000 (0)	-65.5% (0.0%)
	交際あっせん詐欺		()		()	1	4,105,450 (0)	1		4,105,450 (0)	()
	その他の特殊詐欺		()		()		()			()	()
	キャッシュカード詐欺盗	13	11,421,000 (11,421,000)	20	36,142,000 (36,142,000)	32	29,187,000 (29,187,000)	12	60.0%	-6,955,000 (-6,955,000)	-19.2% (-19.2%)

※キャッシュカードをだまし取られた後に払い出された金額（払出金額）も被害額（内数）として計上。
表記の「令和元年」は、平成31年1月から4月を含む（以下、同じ）。

◆令和3年中の特殊詐欺被害の特徴

主な特徴

令和3年中の特殊詐欺被害認知件数は、前年を大幅に上回り、依然として高齢者を中心に被害が発生し、高い水準で推移している。

特に、被害者の自宅固定電話を連絡手段とした特殊詐欺（オレオレ詐欺、預貯金詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺盗）は、認知件数全体の約8割を占めている。

一方、金融機関、コンビニエンスストアなどの水際での被害阻止件数は合計397件で、前年比+110件（+38.3%）と大幅に増加し、地域全体で特殊詐欺の被害を防止する意識が高まっている。

認知件数155件 前年比大幅増！！

被害認知件数は155件で、前年比+30件と大幅に増加した。

被害額は2億6,894万1,618円で、前年比-2,783万円余(-9.4%)と抑えるも、依然として高水準で推移している。

預貯金詐欺やキャッシュカード詐欺盗など、キャッシュカードを対象とした特殊詐欺の被害が高水準で推移したことに加え、オレオレ詐欺、還付金詐欺が大幅に増加したことが認知件数増加の主な要因とみられる。

依然として高齢者の被害が中心 ～特に65歳以上の女性に集中～

被害対象者は、65歳以上の高齢者が129名(被害全体の83.2%)であり、年代別では、80歳代が66名(同42.6%)、次いで70歳代が36名(同23.2%)であり、依然として多くの高齢者が被害に遭っている。

男女別では、女性が117名(被害全体の75.5%)、男性が38名(同24.5%)で、65歳以上の女性に被害が集中している。

キャッシュカード対象の詐欺が高水準！

認知件数155件中、キャッシュカード対象の被害は合計64件で、認知件数全体の約4割(41.3%)を占める。

(内訳：オレオレ詐欺6件、預貯金詐欺26件、キャッシュカード詐欺盗32件)

オレオレ詐欺・還付金詐欺・キャッシュカード詐欺盗が大幅に増加！！

オレオレ詐欺	40件(前年比+29件	約3.6倍)
還付金詐欺	20件(前年比+18件	10.0倍)
キャッシュカード詐欺盗	32件(前年比+12件	1.6倍)

8割が犯人からの電話を受けて被害！

被害者155人中119人(76.7%)が、自宅の固定電話に犯人から電話がかかってきたことをきっかけに被害に遭っている。

※ 主な手口は、オレオレ詐欺(40人)、預貯金詐欺(26人)、還付金詐欺(20人)、キャッシュカード詐欺盗(32人)

※ 119人中104人が65歳以上の女性で、約9割(87.4%)を占める。

金融機関・コンビニ店での阻止増！(前年比1.6倍！)

金融機関・コンビニ店の御協力により多数の特殊詐欺被害を未然防止した。

※ 金融機関・コンビニ店 阻止件数合計 271件(前年比+101件 約1.6倍)

内訳

【金融機関】

阻止件数 71件(前年比+41件 約2.4倍)

【コンビニ】

阻止件数 200件(前年比+60件 約1.4倍)

◆特殊詐欺被害防止方策

○ 「犯人からの電話を受けない」

～犯人からの電話を受けない（かけない）ために～

- ・ 自宅固定電話への通話録音装置の取付け、又は常時留守番電話設定や非通知拒否設定を活用し、メッセージを残さない人からの電話に出ない。
- ・ サイトの未納料金請求や「裁判になる」などと記載されたメールが届いたり、パソコンに「ウイルス感染した」などと表示されたりしても、無視して記載の連絡先には電話をかけない。

○ 「電話を受けてもだまされない」

～万が一、犯人からの電話を受けてもだまされないために～

- ・ 電話でお金の話が出たら、詐欺を疑い、家族や警察に相談する。
- ・ 現金やキャッシュカードを要求されても渡さない、送らない。

○ 「だまされても周囲が阻止する」

～だまされた人がいても周囲で被害を食い止めるために～

- ・ 家族や知人等でお互いに声を掛け合う。
- ・ 金融機関、コンビニエンスストア、宅配業者又は公共交通機関等の職員による声掛けによって被害を阻止する。

◆サイトを見て、特殊詐欺被害防止対策！

長野県警察HP

特殊詐欺啓発動画



長野県警察HP

特殊詐欺被害防止用漫画
「ピィじいさんとサギ」



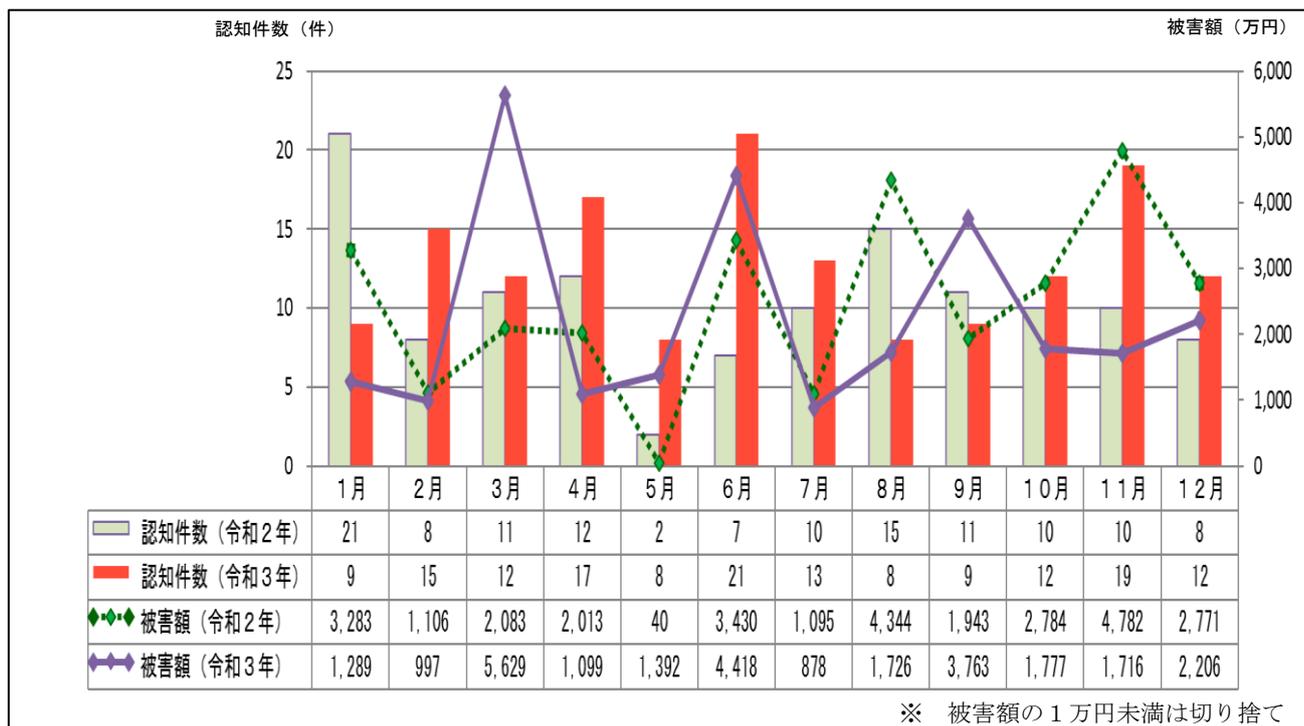
警察庁HP

警察庁・SOS47

特殊詐欺対策ページ（ムービー）



◆特殊詐欺の認知状況（月別前年比）



◆認知状況表（月別・手口別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ		1		3	2	11	2	3	4	4	6	4	40件	25.8%
預貯金	5	6	5	2			5				3		26件	16.8%
架空料金請求	1	3	2	6	2	3	2	3	4	2	1	4	33件	21.3%
還付金	1	1	3	1	1	5				3	2	3	20件	12.9%
融資保証金						1							1件	0.6%
金融商品									1				1件	0.6%
ギャンブル	1												1件	0.6%
交際あっせん			1										1件	0.6%
その他													0件	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	1	4	1	5	3	1	4	2		3	7	1	32件	20.6%
合計	9	15	12	17	8	21	13	8	9	12	19	12	155件	

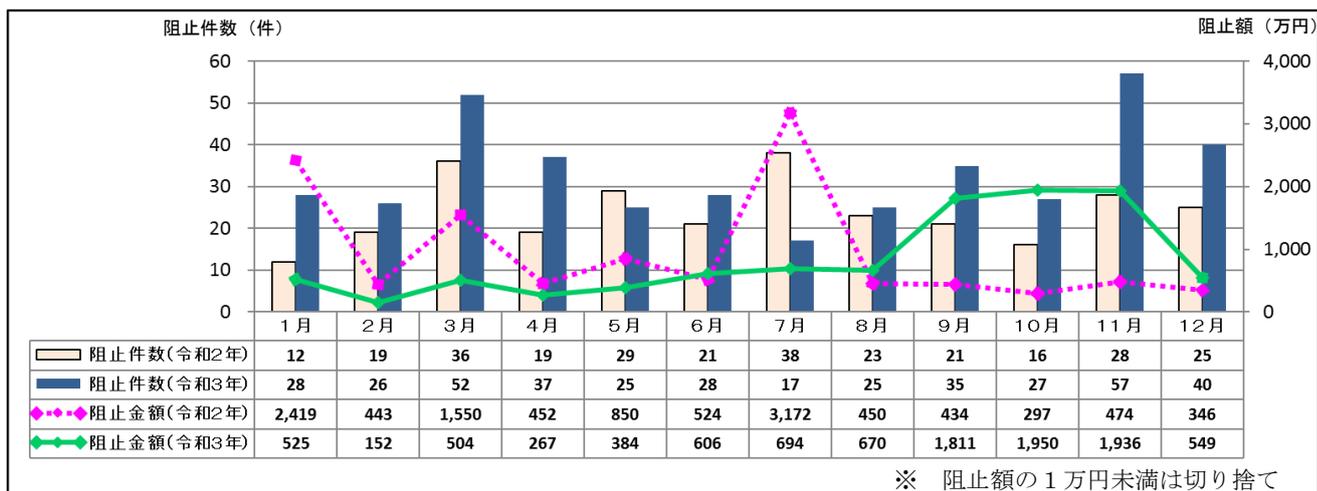
◆令和3年中 特殊詐欺被害阻止件数・阻止金額 前年比（暫定値）

区分	令和元年中		令和2年中		令和3年中		前年比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	363	294,899,373	287	114,178,750	397	100,526,608	110	38.3%	-13,652,142	-12.0%	
内 訳	オレオレ詐欺	96	208,316,000	38	46,089,990	37	67,050,000	-1	-2.6%	20,960,010	45.5%
	預貯金詐欺	18	0	17	0	25	60,000	8	47.1%	60,000	
	架空料金請求詐欺	217	83,632,174	218	65,765,460	261	30,422,272	43	19.7%	-35,343,188	-53.7%
	還付金詐欺	21	1,997,545	2	800,000	72	989,336	70	3500.0%	189,336	23.7%
	融資保証金詐欺	3	167,184	2	0			-2	-100.0%	0	0.0%
	金融商品詐欺										
	ギャンブル詐欺	1	424,150	2	806,800	2	2,005,000	±0	±0%	1,198,200	148.5%
	交際あっせん詐欺										
	その他の特殊詐欺	7	362,320	8	716,500			-8	-100.0%	-716,500	-100.0%

○ 阻止率は74.1%（前年比+4.1%）

※ 阻止率＝阻止件数÷（未遂事件を除いた認知件数＋阻止件数）

◆特殊詐欺の阻止状況（月別前年比）



◆特殊詐欺阻止状況 月別・手口別一覧

阻止件数(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ詐欺	3		2	1		3	2	2	4	7	11	2	37	9.3%
預貯金詐欺	4	4	11	2	1						3		25	6.3%
架空料金請求詐欺	19	20	23	25	17	16	15	21	26	15	35	29	261	65.7%
うち、電子マネー	14	14	20	21	9	12	12	20	23	13	29	24	211	53.1%
還付金詐欺	2	2	15	9	7	8		2	5	5	8	9	72	18.1%
融資保証金														
金融商品														
ギャンブル			1			1							2	0.5%
交際あっせん														
その他														
合計	28	26	52	37	25	28	17	25	35	27	57	40	397	

◆令和3年中 特殊詐欺被害阻止者一覧表

被害阻止者(件)	特殊詐欺										阻止金額(円)	
	合計(%)		オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん		その他
金融機関職員	71	17.9%	9	3	22	36			1			24,765,156
コンビニ従業員	200	50.4%		1	199							18,802,253
運送業者	0	0.0%										0
警察官	1	0.3%				1						0
家族	75	18.9%	25	12	17	20			1			43,139,200
知人	17	4.3%	2	2	12	1						5,740,000
一般人	4	1.0%				3						300,000
その他	29	7.3%	1	7	10	11						7,779,999
合計	397	100.0%	37	25	261	72	0	0	2	0	0	100,526,608

※ その他の内訳：百貨店（7件）、県市町村などの行政職員（9件）、団体職員（1件）、携帯電話会社（5件）、防災無線（2件）、ソフトウェア関連会社（1件）、移動販売車（1件）、家電量販店（1件）、タクシー会社（1件）、電子マネー会社（1件）

◆令和3年中 前兆事案件数

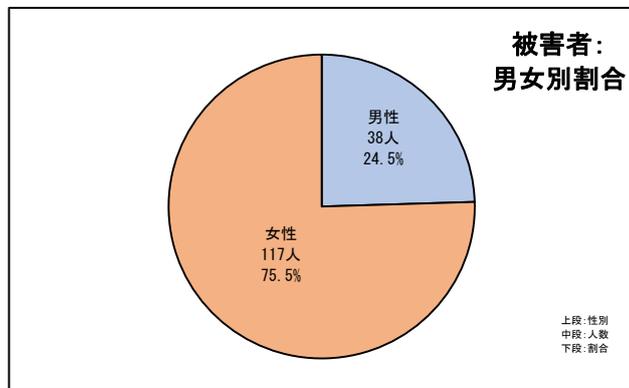
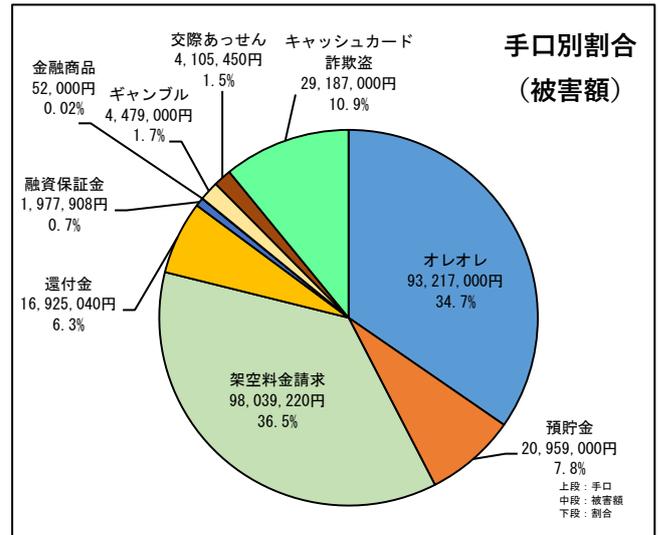
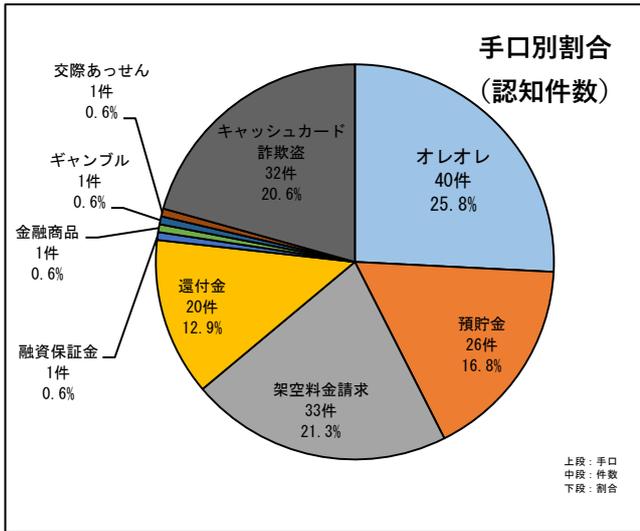
手口	令和2年中		令和3年中		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
	前兆事案のうち 犯行予兆電話							
オレオレ詐欺	207	(207)	286	(286)	79	(79)	38.2%	(38.2%)
預貯金詐欺	357	(357)	220	(220)	-137	(-137)	-38.4%	(-38.4%)
架空料金請求詐欺	841	(45)	476	(20)	-365	(-25)	-43.4%	(-55.6%)
還付金詐欺	30	(30)	267	(267)	237	(237)	790.0%	(790.0%)
融資保証金詐欺	1	(1)	0	(0)	-1	(-1)	-100.0%	(-100.0%)
その他	162	(118)	117	(68)	-45	(-50)	-27.8%	(-42.4%)
合計	1,598	(758)	1,366	(861)	-232	(103)	-14.5%	(13.6%)

◆前兆事案の特徴

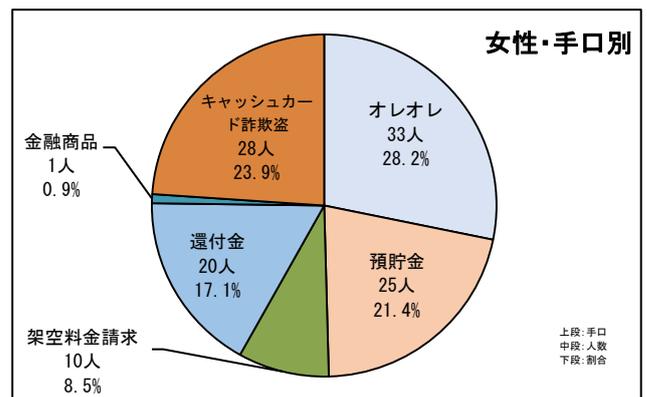
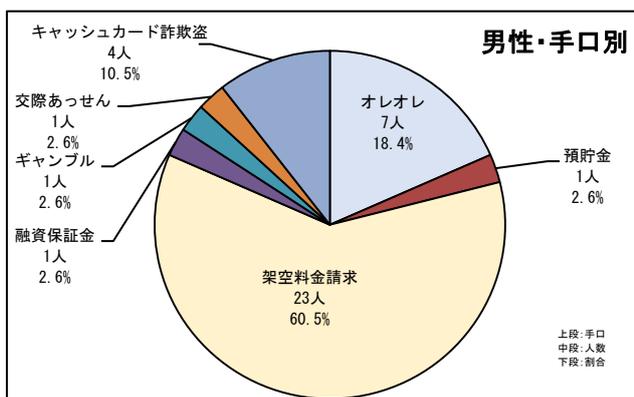
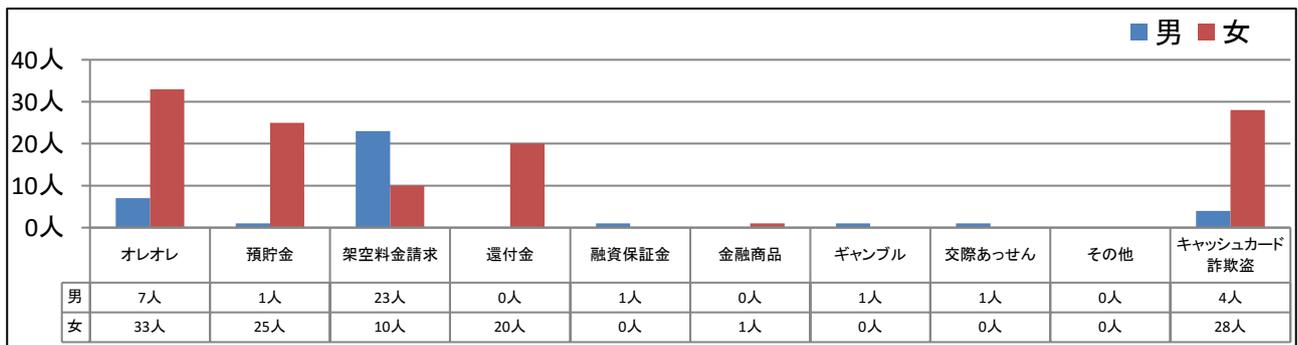
- 前兆事案は、前年比で232件減少（1,366件）
- オレオレ詐欺は、前年比で79件増加（286件）
- 預貯金詐欺は、前年比で137件減少（220件）
- 架空料金請求詐欺は、前年比で365件減少（476件）
- 還付金詐欺は、前年比で237件増加（267件）

特殊詐欺の発生傾向（詳細）

◆手口別認知状況



◆手口別・男女数



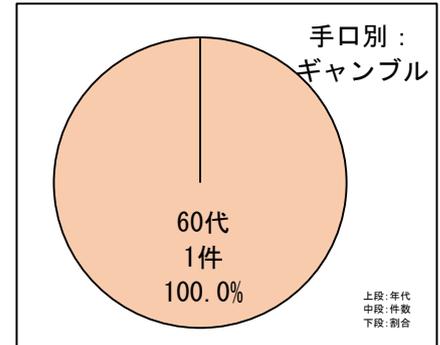
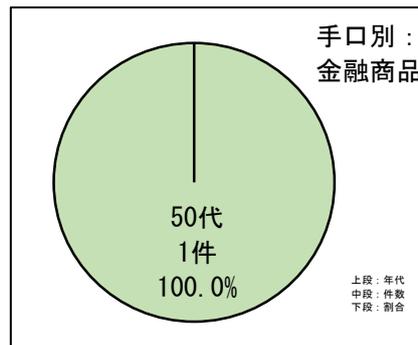
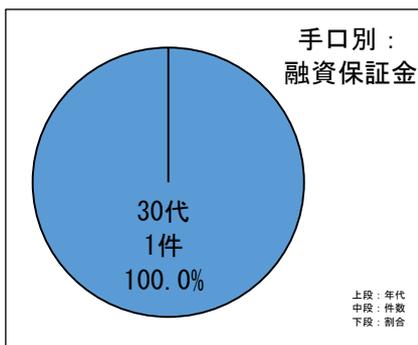
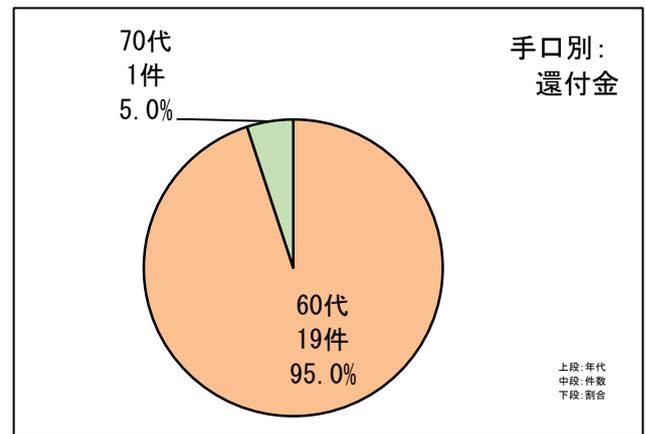
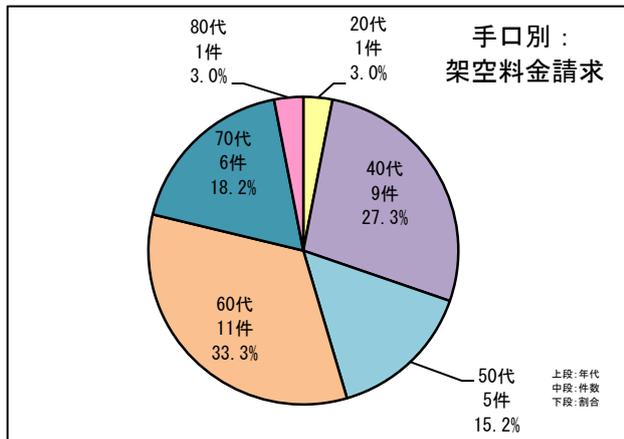
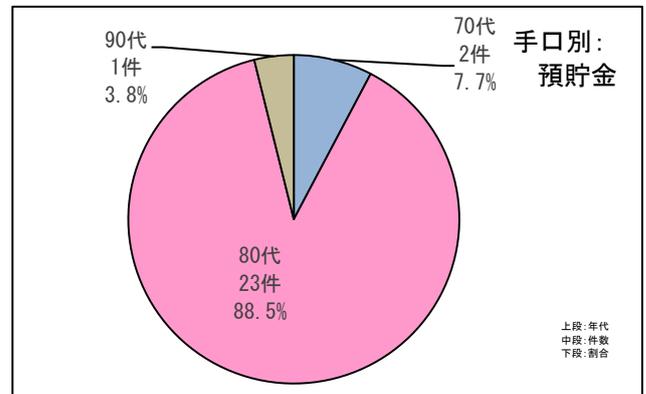
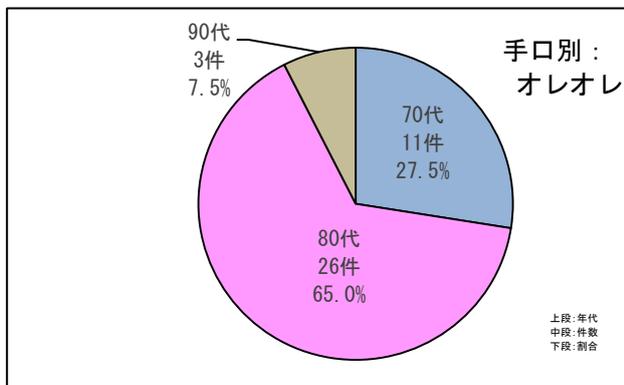
◆被害者の職業

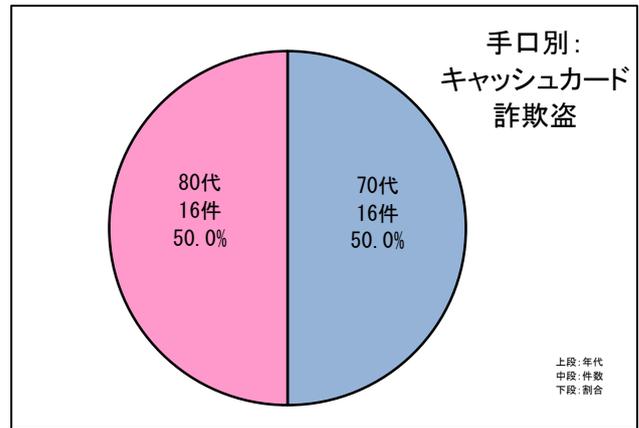
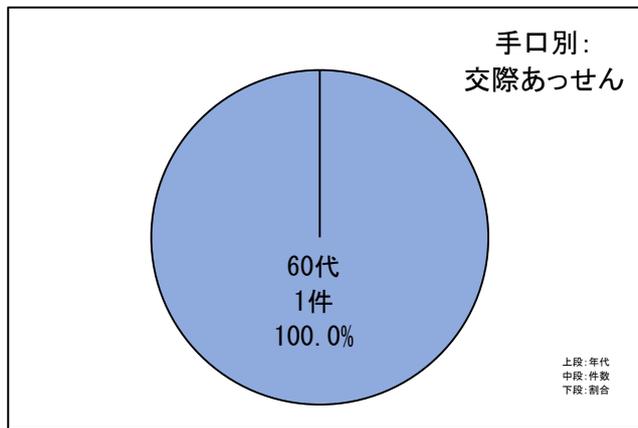
	無職	会社員・会社役員	団体職員	契約社員・派遣社員	自営業	その他	合計
人数(人)	114	17	3	1	11	9	155
割合	73.5%	11.0%	1.9%	0.6%	7.1%	5.8%	100.0%

◆年齢別一覧

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	
割合	0.0%	0.6%	0.6%	5.8%	3.9%	20.6%	23.2%	42.6%	2.6%	155	
人数(人)	0	1	1	9	6	32		36	66		4
高齢者別	高齢者以外					高齢者(65歳以上)					
	26					129					
割合	16.8%					83.2%					

◆手口別年齢構成比





◆交付方法

【主たる交付形態】（交付形態が複合した時、被害額が多い交付形態）

	振込型		現金手交型		キャッシュカード手交型		現金送付型		電子マネー型		収納代行利用型		キャッシュカード窃取型		合計		
	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	
認知件数	37		35	6	32	8	1		18					32	2	155	16
被害額	47,790,618		126,400,000		30,776,000		11,750,000		23,038,000					29,187,000		268,941,618	

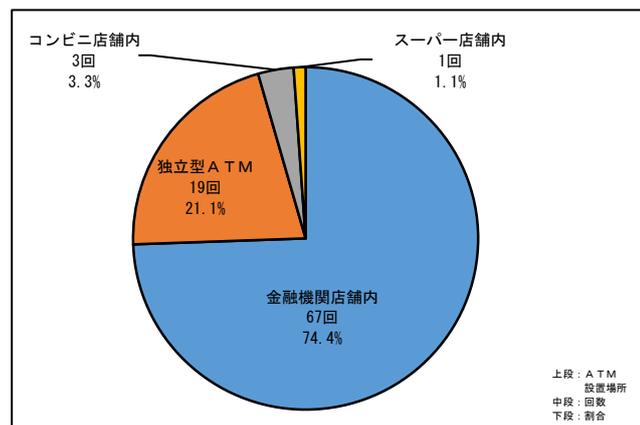
※ キャッシュカード窃取型は、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見てキャッシュカード等を窃取するものをいう。

【延べ数】

	振込型				手交型			送付型							キャッシュカード窃取型	合計		
	窓口	ATM	ネット振込	振込(その他)	自宅	呼出(駅・路上等)	上京型	レターパック	普通郵便	ゆうパック	宅配便	書留類	電子マネー	収納代行			送付(その他)	
オレオレ詐欺					30	6	3											39
預貯金詐欺					18													18
架空料金請求詐欺		38					4					3		55				100
還付金詐欺		27																27
融資保証金詐欺				5														5
金融商品詐欺		1																1
ギャンブル詐欺		9																9
交際あっせん詐欺		15																15
キャッシュカード詐欺盗																		30
合計回数		90	5		48	10	3					3		55				244
構成比		36.9%	2.0%		19.7%	4.1%	1.2%					1.2%		22.5%				100.0%
被害額(円)		45,062,710	1,977,908		95,176,000	56,000,000	6,000,000					10,900,000		24,638,000				268,941,618
構成比		16.8%	0.7%		35.4%	20.8%	2.2%					4.1%		9.2%				100.0%

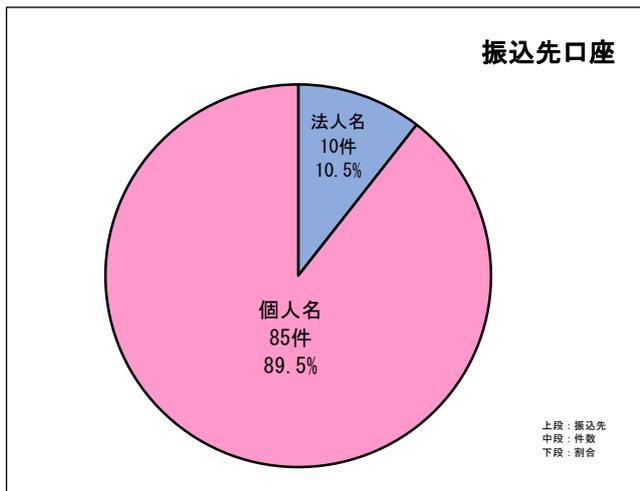
※ 上京型は、被疑者が県外に被害者を呼び出して現金等を詐取すること。

【振込場所 (ATM)】

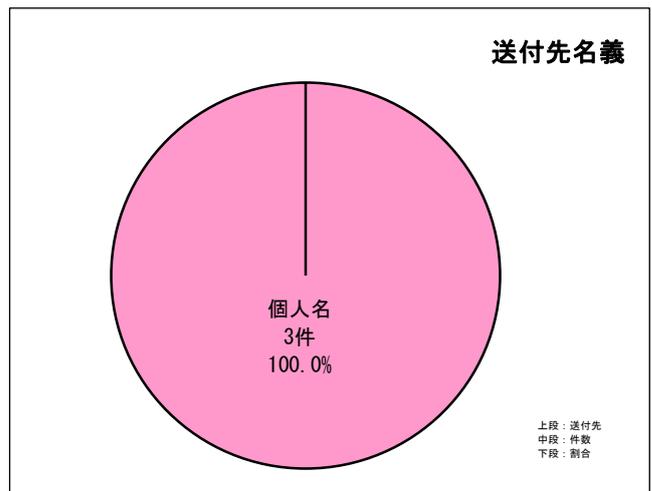


◆振込先の口座名義・送付先の宛先

【振込先口座】

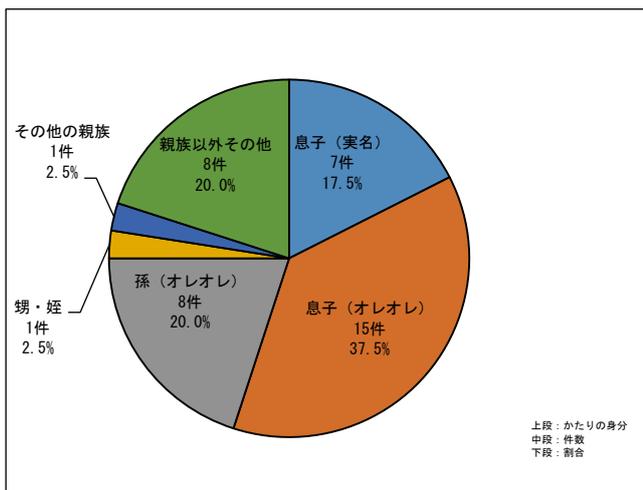


【送付先名義】

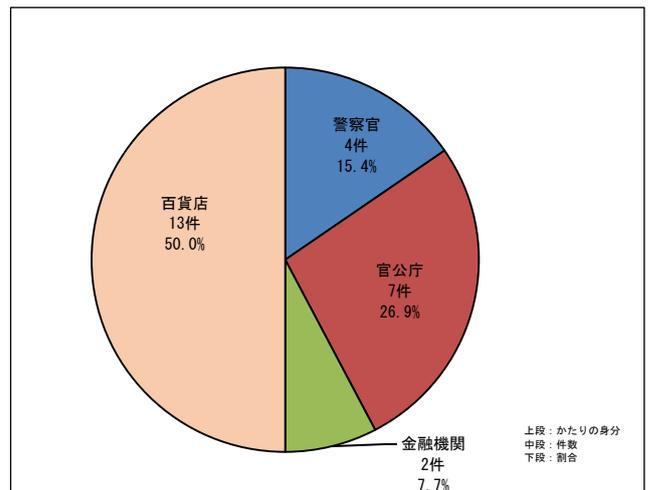


◆主な手口のかたり、名目

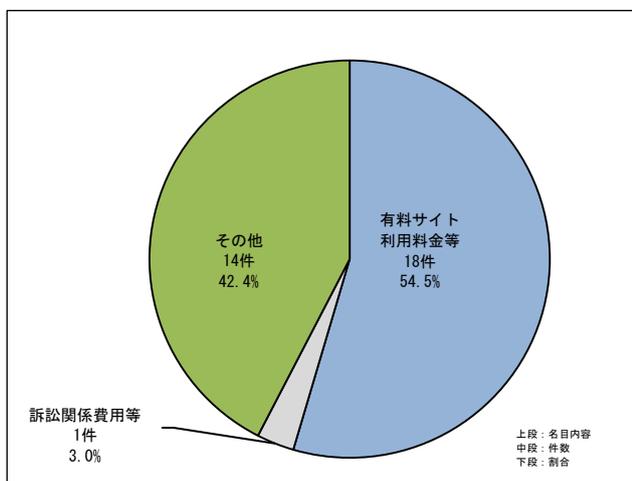
【オレオレ詐欺・かたり】



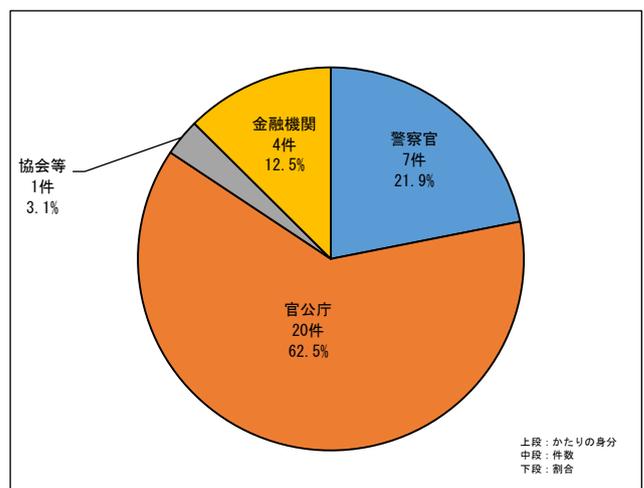
【預貯金詐欺・かたり】



【架空料金請求詐欺・名目】



【キャッシュカード詐欺盗・かたり】



特殊詐欺の類型等について

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいう。

令和2年1月1日から、下記の10類型に分類した。

オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものを含む。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んだ被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。
キャッシュカード詐欺盗	警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取するものをいう。

(注) 預貯金詐欺とは、従来オレオレ詐欺に含まれていた犯行形態を令和2年1月から新たな手口として分類したものの。